

政策 03 快適な生活を支えるまちづくり

施策 02 快適に移動できる交通基盤の整備

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿  
市内・市外への移動を円滑に行うことができています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	市外への移動が円滑に行えると思う市民の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		【都市計画課】	87.3	-	91.5	92
評価	(状況) 令和元年度の実績値に比べ、現状値が2.6ポイント増加した。 (原因) 霞ヶ丘線の開通が要因のひとつと考えられる。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						(...)

指標	市内の移動が円滑に行えると思う市民の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		【都市計画課】	83.2	-	87.5	90
評価	(状況) 令和元年度の実績値に比べ、現状値が4.2ポイント増加した。 (原因) 市営バスの中間見直しにより移動の利便性が上がったことが一因である。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						(...)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 公共交通による移動手段の確保

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	市内の移動に困っている市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	11.8	-	10.3	10	☀ (向上)
評価	(状況) 令和元年度の実績値に比べ、現状値が0.5ポイント減少した。 (原因) 市営バスの中間見直しにより移動の利便性が上がったことが要因のひとつと考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						(---)

## 基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅前広場の整備率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	75	75	75	75	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値の変動はなかった。 (原因) 三郷駅前広場の整備が着手に至っていないことに因るものである。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

## 基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅・駅周辺施設の利用者満足度（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	71.1	-	74.8	75	☀ (向上)
評価	(状況) 令和元年度の実績値に比べ、現状値が2.4ポイント増加した。 (原因) 三郷駅前広場や印場駅のバリアフリー化は進んでいないが、尾張旭駅前での駐車場整備などが要因のひとつと考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						(---)

## 基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅のバリアフリー化率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	75	75	75	100	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値の変動はなかった。 (原因) 印場駅のバリアフリー化について、名鉄と概算費用及び整備方法等を協議しているところであり、整備に着手できていないことに因るものである。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						(---)

**基本事業03 幹線道路整備の推進**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	自動車での幹線道路利用による満足度（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	73.4	-	80.8	85	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和元年度の実績値に比べ、現状値が2.0ポイント増加した。 (原因) 霞ヶ丘線の開通が要因のひとつと考えられる。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目標 達成度
						(---)

**基本事業04 生活道路の整備と維持管理**

指標	歩道のバリアフリー化実施箇所数（箇所）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	355	380	394	390	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度実績値に比べ、現状値が14ポイント増加した。 (原因) 施工基準の見直しにより、1箇所あたりの工事費が安価で施工できたため。					対 前年度
						☀️ (向上)
						目標 達成度
						🏠 (達成)

**基本事業04 生活道路の整備と維持管理**

指標	市民により生活道路等が維持管理されている箇所数（箇所）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	13	16	16	19	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値の変動はなかった。 (原因) 道路美化活動団体が、1団体増加し、1団体減少したことに因るものである。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						目標 達成度
						(---)

**基本事業04 生活道路の整備と維持管理**

指標	道路管理の瑕疵により損害賠償の対象となった件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	0	2	2	0	☔️ (低下)
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値の変動はなかった。 (原因) パトロール等による道路損傷の状況把握が万全ではなかったことが要因のひとつと考えられる。					対 前年度
						☁️ (横ばい)
						目標 達成度
						(---)